

つ がね いち にち がっ こう
津金一日学校

こどもたちとちょっと風変わりな先生たち。津金学校135年目の一日だけの登校日。



いとう ちえ
伊藤千枝
珍しいキノコ舞踊団

はっとり ぶんしょう
服部文祥
サバイバル登山家

か せつ
華雪
書家

8月21日
(日)

津金一日学校

ディレクション 豊嶋 秀樹(gm projects)

デザイン 廣瀬 友子(Point 0)

写真 砺波 周平

P 1,2,3,4,6,7,9,10,13,14,15,16,17,18

P 21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31

名札デザイン・制作 本杉 琉

スタッフ

浅野 幸恵 市川 真也

金子 清美 川口 明恵

五味 信吾 阪野 ルリ子

鷹野 敦貴 清水 あさみ

中込 律子 廣瀬 時

矢沢 路恵

大正館 スタッフ

早川 文昭 雨宮 真知子

津金学校 スタッフ

小林 峰雄 高橋 正明 樋口 勻 吉本 標実

NPO法人文化資源活用協会

花王・コミュニティミュージアム・プログラム2010の助成により行われています。

津金一日学校 tsugane one day school 2011

発行日 2011年9月21日

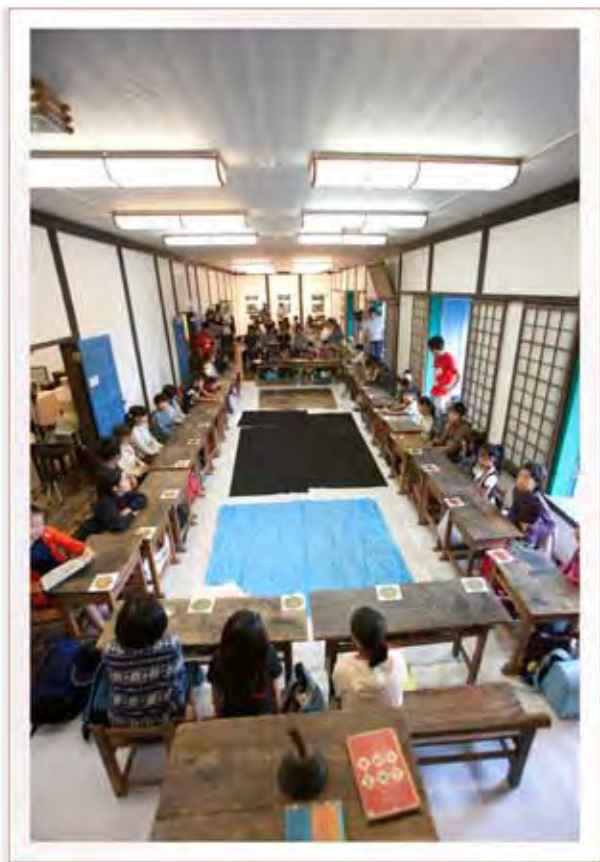
発行元 特定非営利活動法人 文化資源活用協会

山梨県北杜市須玉町下津金2963

URL <http://tsugane.jp/bunka>

子供たちとちょっと風変わりな先生の
135年目の登校日。

プロローグ



学校が閉校して以来、地域にはこんな声がありました。

「校庭から子供の声が消えて寂しいね」

「畑仕事をしていると、学校のチャイムが大事な時間代わりだったのに」
それなら……

かつてのように子供たちが登校する学校を開校してみようと考えました。

今度は、でもちょっと風変わりな先生の、聞いたことのない授業。

子供たちと先生の不思議な出会いから、津金一日学校が始まります。

きょう一日は、あの懐かしいチャイムを久しぶりに鳴らしてみようと思います。

津金学校が、みんなの^{とき}時間をまたふたたび刻み始めます。

時間割



1

書道 P5～10
華雪先生

10:00-11:00

2

冒険 P11～16
服部文祥先生

11:15-12:15

給食

給食 P17～18

12:30-13:00

地元津金や山梨の食材にこだわって、明治校舎内にある給食室で作りました。
お昼前、1階の給食室から2階の教室に立ち昇るいい匂いにつられて子供たちが様子をみにきました。

3

ダンス P19～24
伊藤千枝先生

13:30-14:30

放課後

放課後 P25～30
フォーラム

14:40-15:30

授業を終えた先生たちを囲んで、お母さん・お父さん達、旧津金学校卒業生も交えて一生懸命たくさん考えました。「どんなふうに生きたら、楽しくステキな大人になるための子供時代を過ごせるか。」
子供たちはその間長い廊下で雑巾がけレース!!



朝の会



みなさん、おはようございます。

きょうは、津金一日学校の登校日です。

ここ津金学校はね、いまから約135年前に開校した学校です。

昭和43年頃にこどもがいなくなってからは静かで、学校もずっとさみしがっていました。生徒が来ないかな・・・と思って考えてね、ついに一日学校を開くことになりました。

きょうは、みなさんがいつも勉強していることとは違った楽しいはじめての授業になると思いますから、一生懸命勉強してくださいね。

みなさんの名札を見てください。かぼちゃ、スイカ、りんご、なす、さくらんぼ、もも、ぶどう、トマトなど、地元で採れる美味しい果物や野菜の形をしています。きょうはその同じ名札のお友達と班になります。一緒にお勉強したりダンスをしたりしますよ。外は雨ですが、最後まで元気に頑張りましょうね。



では、始めましょう。出席をとります！

授業の合図は、校長先生が鐘を鳴らしますよ。

チリン、チリン、チリ〜ん。(鐘)

津金一日学校 校長先生



1 時間目 書道

華雪先生

書家

1975 年京都市生まれ。幼少より通い始めた書道教室で文字と言葉に興味を持ち、書と篆刻（印刻）に親しむ。中国の古典などを学ぶ傍らで、なぜその字を書くのか、字が書かれる背景を常に自身に問いかけながら 1992 年より個展を中心に活動が続ける。刊行物に『静物画』（2001、平凡社）、『石の遊び』（03、平凡社）、『書の棲処』（06、赤々舎）、『ATO 跡』（09、between the books）などがある。制作の他にも、各地でワークショップも行っている。

www.kasetsu.info

かせつ先生、もっと聞きたい。

かせつ先生のしごと

毎日いろいろなものを見たり触ったり聞いたり話したりして、心の中で考えたり思ったりしたときに、頭に浮かんだことばを書くことがしごとです。ことばは、大きな紙に書いたり、原稿用紙に作文として書いたり、いろんなかたちで書きます。書いたものは、いろんなところで展示したり、ときどき本に印刷されたりします。

かせつ先生の生まれたところ

山に囲まれていて、家から坂を上りきったところに競輪場がありました。競輪のある日は、むずかしい顔をしたおじさん



がたくさん坂の上から下りてきました。家の近くには線路があって、あそびに行くのはガレージと田んぼとそのわきの小川でした。山の向こうが気になっていました。

好きなたべもの

アイスクリーム。

こどもの頃の夢

父のしていた家をつくるしごとを、わたしもやりたいと思っていました。

どうして「書く」ことが好きなんですか？

書く前には、なぜそのことばを書きたいのかわかっていたはずの自分の書いたことばを、あとから見て、読むと、どうしてそのことばを書いたの？と思います。そして決まって、どうして書いたのかわからなくなって、まよいます。だから、

たくさん考えます。すると、今、わたしはなにがすきなのか、なにをたいせつにしたのかがだんだんわかってきます。すきなこと、たいせつにしたいことがわかると、正直に生きたいと思えます。だから「書く」ことがすきです。

一番好きな本

武田百合子さんの書いた「富士日記」という本がすきです。ひとやものをたいせつに思うきもちが書かれている気がします。

最近一番笑ったことはなんですか？

すきなひとと鼻と鼻をくっつけると、おもしろいきもちになって、大笑いしました。

「うちにかえってきてから、しよごうがやりたくなくなって、じをたくさんかいた。」

「書く」ときはどうして違うひとのよう
になるのですか？

なにを考えていますか？

書く前に、どうしてそのことばを書きたい
のか、たくさんたくさん考えます。
でも書くときには、筆を持つ手を支えるた
めに、からだにちからをぎゅうと込めます。
ちからを込めると、息ができなくなります。
すると、たくさんたくさん考えたことをわす
れてしまいます。

だから違うひとのようになるとおもいま
す。そうして書くと、わすれてしまったと思
ったけれど、ほんとうはわすれていなかった
ことがきつと出てくると信じています。

上手く書けない時はどうするの
ですか？

くやしいので泣きます。それから、どうして
書けないのか、考えます。自分にうそつき
になっていないか考えます。

好きなひとはどんなひと

わたしがたくさん考えたり思ったりしてこ
とばをつたと、その人も、たくさん考えたり
思ったりしたことをていねいに伝えてく
れます。毎日そうして、ふたりでいろんなこ
とを話します。毎日そうしていると、身の
回りのたくさんの方に気がつくようにな
ります。そのことをまた、その人に伝えます。
そうして、いつもいつも考えたり思ったり
したことをことばにして伝えたいひとです。





「元氣いっぱいになんちようしないで書いた。時間ももう少しほしかった。」





書道の授業より

華雪先生を囲んで自分を指すことば・なまえをそれぞれ書きました。いつもは半紙に収まるきれいに書かれた「わたし」だけけど、今日は、思い思いに考え探して見つけた「わたし」の自画像を、墨と筆で書きました。

わたしというからだ・この形はひとつしかないので、わたしは「わたし」と書きます。

私はいつも床で書くので今日もこうやって書きました。みんなぐらいの年の頃から、床で書いています。いま使った筆も、みんなぐらいのときに切った髪を、その時の書道の先生が筆にしてくれました。私はこうやって書くのが私らしいなあと思って、気持ちよく書けます。それをみんなが真似ることはなくて、みんなは自分を探してみてください。

先ほど私は、華雪と紹介していただきました。字を書くことを仕事にしています。たとえば、絵をかくために名前を持っている人がいます。仕事をするための名前を持っている人もいます。

私は生まれた時に父から「れみ」と名付けられました。それから、みんなぐらいのときに、書道の先生から、もうひとつの別の名前を付けてもらいました。でも、先生のくれた名前が、なぜだったか気に入らなかったから、10才のとき

に自分で自分の名前を付けました。「華雪（かせつ）」。「花吹雪」という意味があります。その名前を25年間使っています。もう一つの名前「れみ」は36年間使っています。2つの名前があるので、私の中には「れみ」と「かせつ」さんの二人がいます。字を書いているとき、名前が2つであっても、私というからだ・この形はひとつしかないので、名前が2つある私は、「わたし」と書けば、2つの名前を持ったひとつのからだの私が書けると思っています。だから今日、私は名前のかわりに「わたし」と書いてみたいと思います。みんなも、私らしいなあと思う自分を考え書いてみてください。

そして、みんなの書いた「わたし」を並べたら、まるでみんな自身がそこにいるような雰囲気になればいいなあと思っています。

「学校では、決まった書き方で自由に書けないけど、自由に思ったように書くことができて楽しかった。」



2時間目 冒険

はっ とり ぶん しょう 先生 服部 文祥 先生

登山家

1969年横浜生まれ。正当派登山(ヒマラヤや岩壁登攀)を経た後、自分の力で登ることに目覚め、自給自足の登山サバイバル登山を開始する。山岳雑誌「岳人」編集部。山岳関係の著書が複数あり、三児の父でもある。著書に『サバイバル登山家』『狩猟サバイバル』(みすず書房)、『サバイバル!』(ちくま新書)、『百年前の山を旅する』(東京新聞)、他。



はっとり先生、
もっと聞きたい。

ハットリブンショウのしごと

やまのぼ る ざっ し がくじん つく かね
山登りの雑誌「岳人」を作ることでお金をも

らい、生活に必要な多くのことを買ってい

ます。いわゆるしごとは雑誌作りです。

じんせい おお さ
人生の多くを割いているのは「しごと」では

なく、登山と作文です。

ハットリブンショウのかぞく

おく こども にん おとこ ねんせい おとこ ねん
奥さんと子供が3人(男6年生、男4年

せい おんな ねんせい いっしょ く
生、女1年生)と一緒に暮らしています。

こどもの頃の夢

ひょうげんしや なん げいじゆつか
表現者(何らかの芸術家やプロスポーツ
せんしゅ おも
選手)になりたいと思っていました。



狩りで仕留めた鹿の解体



小学校入学の時の俺



今の俺。くわえているのはヘビ



そのヘビの解体

どうして本を書くのですか？

かっこいい!と思うから。なんらかの価値ある作品を作りたいという子供の頃の夢が、消去法で文字表現になりました。

どうしてミケランジェロとかが好きなんですか？

ミケランジェロは人類史上最高の芸術家だと思っています。宇宙人に見せても（聞かせても）恥ずかしくないのは、ミケランジェロ、運慶、何人かの音楽家の作品くらいだと思っています。

山でひとりで寂しくないですか？

寂しくないです。他人と一緒に山に入っ、やりたようにできない時の方が寂しく（悲しく）なります。

どうして落ちたり怖かったのに、またおなじところに行くんですか？

自分という人間（装置）が何ができるのかを知りたい。自分という装置の性能を最大限に発揮する瞬間を体験してみたいから。

サバイバルってなにですか？

「サバイバル登山」とは自分の力で山に登ろうという考え方とその実践です。

「サバイバル」という言葉を使っているのは、人の気を引くためです。だからサバイバル登山の「サバイバル」とはなにかといわれたら、営業的な修飾語と答えます。自分の作品を多くの人に読んでもらうために使っています。

「じかのあたまが、きつておいてあるしやしんは、びつくりした。」

こわ せんせい な
怖いと先生も泣くのですか？

きようふ いのち まも かんじよう はたら
恐怖は命を守ろうとする感情の働きです。
な り ゆう にはなりません。だから こわ くても な
泣く理由にはなりません。だから怖くても泣
きません。かいけつ かんどう
解決にならないから。感動した
り、いのち たす
命が助かってうれしかったりするとすぐ
な ひんぱん
泣きます（頻繁にはありませんが）。

す
どんなひとが好きですか？

ひと す わたし い
キレイな人が好きです。ただ、私の言う「キ
レイ」はふくざつ よう そ しゅうごうたい
複雑な要素の集合体です。奥さん
はいくつかのようそ み
要素を満たしているのかもしれ
ません。

あじ
ふりかけは、なに味が好きですか？

のりわさびかな？ でもじんこうてき あじ
のり好きではないです。ごはん かけるならな
す
豆です。なっとう にはネギ、き み ひっとう
納豆にはネギ、黄身などを筆頭に、
オクラ、ツルムラサキ、モロヘイヤ、やまいも
じゃこ、たらこ、しそ、ミョウガ、たの
どろろ昆布な
どいろいろと入れ、バリエーションを楽しん
でいます。



「先生の本の表紙のポーズが、絵をまねっこしておもしろかった。」



冒険の授業より

サバイバル登山に欠かせない道具とともに、山でつかまえたカエルや岩魚の燻製。先生が見たもの、感じたもの、食べたもの、考えたこと、すべてのリアルな体験をみせてくれました。

沢山のみんなの疑問質問が飛び出しました。

ひとに荷物運んでもらって、これって正しい登山なのか。

こどもの頃から山で釣りをしていたわけではなく、都会の団地で育ちました。自転車が好きで、インドを自転車旅行をしたりしました。日本人は家や仕事があって、風呂入って布団で寝てって生活をしっかりしますが、インドはそうじゃなかった。人間ってどうやっても生きていけるんだなあってインド人に教えてもらいました。

26歳の時、K2に登りました。道がないので山の麓まで地元の人に荷物を運んでもらいます。20kgの荷物を8時間背負い日給400円で10日間位。彼らを見ていて、これって正しい登山なのかって、考えちゃいました。人に荷物を持ってもらって山に登っていいのかな。この人たちと自分は、何が違うんだろうとすごく疑問に思いました。

K2から帰ってからは自分の力で移動する、旅をするってどういうことか考えていました。みんなもどこかに行くときには車や電車を使うと思うけど、僕は移動するのも全部自分の力でやるフリークライミングの考え方を山登りでもやろうと思ったんです。スキーや沢登り、それらをぐちゃぐちゃってまとめて俺の「サバイバル登山」を作りました。

だんだん分かってきた？

冒険の道具たち

- A タープ。森の中に張って屋根にします。
雨や雪を防いでくれます。
- B 最初に地面に敷くグラウンドシート。
拾った布きれを使用。
- C マットです。熊の毛皮を持ち歩いていましたが、事故があって、今シーズンはマットを使っています。
- D 雨具。かつては笠と蓑、もしくは着ゴザでしたが、今の雨具は軽くて快適です。
- E 身につけていくもの。
服、靴下、帽子、溪流シューズ、スパッツ、帽子、手袋
- F ザックに入れている毛の下着、
防水をしてもっていく。
- G 寝袋(シュラフ)とシュラフカバー。
夜、入って眠ります。羽毛が入っていて暖かいです。
- H 左:拾った手袋。
右:軍手。拾ったものです。
通常は小物袋に入っています。
- I ロープ(ザイル・上)と
登攀具(カラビナと細いロープ)。
2トンの衝撃まで耐えて、軽くてしなやかなロープは自然界には存在しません。
- J ノコギリ。
雨や雪山など条件が悪いときに焚き火を熾すために必要。シルキーのゴムボーイというノコギリ。
- K イワナの燻製。
山で釣ったイワナを焚き火の上に吊して作ります。イワナが釣れない日のおかずになります。
- L ザック。荷物を入れる道具。
沢登専用で防水の機能が優れています。
- M 登攀具。カラビナと簡易アッセンダー。
開閉式の丈夫な環は登攀に必要で個人で作ることができません。
- N 釣り具。竿以外の仕掛けはこれだけ。
ライン、毛バリ、ハリス、ハサミ、砥石。
- O 魚籠(ビク・青)とフラシ(黄)。
魚籠は移動しながら魚を運ぶ道具。
フラシは魚を入れて流れに沈めておく網。
- P 塩、こしょう、醤油、ごま油が調味料。
紅茶、ペットボトルに砂糖とミルクパウダー、米は一日400gの計算でもっていく。梅干し。
- Q ウェストポーチ。
中身は地図、筆記具、細いロープ、コンパスなど。
- R 着火剤、100円ライター、タコ糸、リペアテープ(修理用のテープ)
- S チェーンバイク。
急な斜面を登るときに足に着ける道具。
- T 釣り竿と手作りケース。
釣り竿は高級なものを使っています。
よい竿の方が釣りが楽しいので。
- U 水筒。
このタイプの水筒が場所を取らないので重宝します。
- V 鍋というか金属は自分で作り出すのがとても難しいものです。焚き火の炊事用の鍋です
- W 小物袋に入っているもの。ナイフ(包丁)、箸、スプーン、針金、茶こし(蚊帳) テーピング、オロナイン。





D



E



F



G



J



K



N



O



P



T



U



V

W



「カエルがおいしかったーイワナもおいしかった。」

給食の時間



きょうの津金一日学校給食は、津金の農家のみなさんの育てた野菜で作りました。先生も一緒に給食を食べますよ。

3時間目ダンスの伊藤先生や篠崎先生も一緒に給食です。

「みなさん、おなか一杯食べましょう。でも、食べてすぐにダンスをするとおなかがびっくりするから、しっかり食べて、ゆっくりお昼休みをとって下さいね。」

「先生ー!もう牛乳飲んでもいいですかー。」 「早く食べたい。」

みんな揃ってでは、い・た・だ・き・ま・す。

服部先生の作ったカエルの燻製だって食べてみた。

先生に聞きたいことも一杯あったし

鹿肉だってはじめて食べた。

いっぱいあるから、ゆっくり食べた。

きょうの給食は、なんか、楽しい。



給食の献立

びん牛乳

胡瓜の浅漬け(津金産)

茄子と大葉の浅漬け(津金産)

冷やしトマト(津金産)

夏野菜盛り沢山カレー(津金産)

地元・浅川豆腐組合の地元産大豆で作った豆腐の
豆腐と鶏挽肉のハンバーグ

山梨県産ぶどうと白ワインに漬け込んだ
鹿肉のローストカボチャ

津金の津金さんの粳保存の七分搗き米と早川さんの紫黒米
紫黒米入りごはん

焼き茄子のペースト(津金産)

「カレーなど全部おいしかった。野菜が甘かった。」



3 時間目 ダンス

伊藤 千枝 先生

振付家・演出家・ダンサー

1990 年「珍しいキノコ舞踊団」を結成。

以降全作品の演出・振付・構成を担当し、カラフルな舞台美術や衣装とともに、国内外で作品を発表している。ワークショップも多数行っており、ジャンルにとらわれず、それぞれの身体の持つダンスを他者と共有し、触れ合いながら、身体やダンスの「楽しさ」を体感することを目指している。

2003 年から 2004 年には NHK 教育テレビ「ドレミノテレビ」、CM サントリー「ニチレイアセロラ」振付、出演など。

www.strangekinoko.com

ちえ先生、 もっと聞きたい。

ちえ先生のしごと

おどること。おどりをつくること。

ちえ先生のおともだち・仲間

ダンスをやっている人、絵を描く人、家
具をつくる人、歌をつくったり歌う人、洋
服をつくる人、役者さんやお寿司屋さん
で働いている人などたくさんいます。

めずらしいキノコってなんですか？

カラフルでちょっと汗のにおいのする、
食べるとすごく元気になるキノコです。

どうしてダンスが好きなんですか

ものすごく楽しいからです。



サントリー ニチレイアセロラ アセロラ体操の振付・出演

ダンスと体操はちがうのですか？

わたしはちがうとおもいます。ダンスは自分の気持ちや考えをからだで表現するもので、体操はからだの健康のための運動です。

影響を受けたダンスをするひとはいますか？

4才から大学生までわたしがダンスをならっていた先生たち。ドイツ人のピナ・バウシュさんとアメリカ人のウィリアム・フォーサイスさんというダンスをつくるひとたち。ほかにもたくさんのダンスに影響を受けてます。

こどもの頃の夢

豆腐屋さんになりたかったです。

おとうさんやおかあさんも踊るのが好きですか？

おとうさんはお酒を飲むのが好きで、おかあさんは歌うのが好きです。わたしはお酒を飲んで、歌をうたって、おどるのが大好きです。

なにを食べると先生みたいになれますか？

食べるのが大好きなので、ネギ以外だったら大体なんでも食べちゃいます。カンガルー肉も食べたことあるし。それとたくさんの人と話しながらご飯を食べるのも大好きです。楽しいから嫌いなものもうっかり食べちゃうかも？

「48本足になるのが難しかった。おもしろかった。楽しかった。道具になりきる時、泡立て器になるのが難しかった。」



いちばん わす ^は ^{しっ ばい}
一番忘れられない恥ずかしい失敗
 ともだちとケンカしすぎて ^{お ぐん} 無言でにらみ
 合 ^あ っていたとき、突然 ^{とつ ぜん} ブーッ! すごいオナ
 ウをしてみました。それで仲直りできた
 からよかったけど、これ ^{だい がく せい} 大学生 ^{は なし} のときの話。
 ものすごく ^は 恥ずかしかったです。

どうやったらダンサーになれますか？
 ダンスが ^{だい す} 大好き ^{だい じょう ぶ} だったら大丈夫です。「わ
 たしはダンサーよ!」ってみんなに ^い ってみ
 ましょう。あとはひたすらおどってください。

^{しょうらい} ^{ゆめ} **将来の夢**

「しあわせです!」と ^{むね} 胸 ^は を張 ^い って言うこと。
^{ゆめ} 夢 ^{もく ひょう} ではなくて目標です。



身体を動かすことの楽しさを伝えたい

ダンスって、身体が柔らかくなければいけないというような、ただフィジカルなものだけではなくて、それぞれの持っている身体感覚とか感性といったものも大事だと思っています。キノコ舞踊団の作品も今日の授業もそうですが、身体を動かすことの楽しさやダンスの楽しさをできるだけ沢山の方に伝えられたらいいなあと、それをメインテーマに活動しています。

エアロビクスやヒップポップのように型があるものではなく、なんだかわからないうちに一生

懸命に身体を動かして、気がついいたらゲラゲラ笑いながら大汗をかいている、というようなことが私のワークショップではいつも起こっています。今日の授業のように、いろんな日用品のもののまねをしたり、ゴロゴロ転がって人の上ののったりすることなどもなかなか日常生活ではありませんよね（笑）。小学生も高学年になるとだんだん人と触れあう遊びが減るそうなので、こういう機会にみんなで走り回ってぎゃーって大きな声を出して発散してもらって元気になってほしいと思っています。

「ダンスは、物を使って踊るのがおもしろかった」

おどろは…皮になってポーズ!

えっ〜!

たらどんどんに乗っかって
転がるよー。ごうごう。人がいると思っ

はい、1、2、3!
48 本足になってください
ひとりではできなかったら

誰かとやってもいいよー!

はい。夜がやがたポーズ!

おへらんぼチーズ!

スリカになりまーす!

「ダンスでペーパーをかみだいにふたりペーパーにのってダンスをやったのしかったです。」

放課後 フォーラム ドキュメント

授業を終えた先生方をパネラーに、父兄や津金学校卒業生らも参加。現在に至るまでの道や子供時代をお伺いしながら、こどもも大人も自分らしく「楽しく生きる」生き方についてもみんなで考えました。

こどもたちは、大正館名物長い廊下で“雑巾がけレース！”に大いに盛り上がりました。

華 雪 先生(書道)
服部文祥 先生(冒険)
伊藤千枝 先生(ダンス)
豊嶋秀樹 (津金一日学校ディレクター)

豊 嶋 3人はどんな小学生だったんですか？

華 雪 10歳頃、ちょうど華雪って名前をもらったあたりから、すごいこまっしゃくれた子になってきて、反抗期もすごく早かったんです。でも、何かをじっと見つめていたい子でしたね。「見る」ことがあっていままで字を書いてきた。いまだに自分の出来事をはじめ、「書ってなに」とか、「なんで字をかくているのか」を見続けているのは、そんな子供のころの延長かもしれないです。見るのが大事です。

服 部 僕はガキ大将でした。ちょっと軍国主義的な(笑)。集団生活を乱すようなやつは、ガツンガツンとやらないと気がすまなかったな。でも、みんなが無視したり、いじめたりするような理由でいじめはしなかった。足も速かったんですが、スポーツよりは虫取りとかザリガニ釣りのほうが好きでしたね。友達は野球や剣道など、スポーツチームに入っちゃうんで、ひとりで日曜日の午前中は近くの雑木林をうろろしてました。

伊 藤 当時私は、自分のことを正義の味方だと思ってたんですよ。だから、いじめられっ子をいじめっ子から私が守ってるんだっていう思いで、いじめっ子をやっつけたり……。いじめられっ子が「千枝ちゃんありがとう」っていってくれて、「わたし



千枝ちゃんの子分になります」って。「じゃあそうか、わたしが守ってやるから俺の後ろについて来い」と(笑)。それでどんどん子分が増えてくる(笑)。

服部 番長だ(笑)。

伊藤 私いまもキノコの親分だから、変わらないね、人って(笑)。



服部 ここまでの話で三つ子の魂百までということわざの意味がよくわかりましたね(笑)。

僕は、中学高校とハンドボール部、いわゆるスポーツを始めました。球技は球技で面白いんですよ。ただ今思えばボールを追いかけることには狩猟的な興味を感じていたのかもしれない。子供の時から、純粋なスポーツや登山より獲物系に興味をもっていた気がする。

豊嶋 いまのこどもは、皆さんのころと違いますか？

服部 違う面もあるし変わらない面もあるかな。子供の数が少ないですよ。だからかな、学校で我々の頃よりは丁寧に扱われてる感じがする。息子は11歳と9歳ですけど、「服部さん」と学校でさん付けで呼ばれていて、変わったなあと感じました。ただ、子供自体は昔と同じ、「今の子が腕白じゃない」というのは違うと思う。今の子も放っておいて自分でやらせればなんでもできます。ちょっと手をかけすぎだと思います。親が暇なんじゃないですか。そういう僕も結構一緒に遊んでるんですけど……。

僕の場合、父親は相撲と囲碁ばかりで、登山に関しては親の影響はまったく受けていないです。父親は僕が飼っているザリガニが逃げ出しても、持てないくらいでしたから。虫取りも全く駄目でした。だから、父親が影響を与えてその道に行く人もいれば、僕みたいに全然影響がなかったりもする。

伊藤 私たちのころは結構ほっとかれてたよなあって、私も思います。学校から帰ってきて、親は子供がどこへ行ってるかわかんないくらいだった。今は習い事が多いので、自分で好きなことをやる時間が極端に減ってますね。時間がある子は無限にあって、ない子は本当にないようであつとかわいそう。腕白な子は腕白で、元気だし全然変わってないけど、やっぱり大人の目線、大人と過ごす時間が増えていと感じますね。

豊嶋 これからは、あえて目を離す瞬間を作っておけないといけないってことですか？

服部 僕らの頃は、ケンカもあれば、悪質なイタズラ、火遊びも結構やったじゃないですか。火事寸前になって、燃え広がる炎を必死で踏みまくって靴の底が煤で真っ黒とか。川で泳ぐ池で泳ぐとか。最近そういう子供たちの行為の度合いがごんまりとしているようにみえるのは、やっぱり大人の目があるからなのかなあと。

豊嶋 華雪さんも伊藤さんも小さい頃から一直線に歩いてきているところはあると思うんですね。人生って、選んで選んで自分にとってはひとつの道ではあるんですが、ご自身はどう振り返りますか？



伊藤 ダンスを始めたきっかけは、幼稚園のお友達がダンスを始めたことです。友達はすぐやめちゃったんですけど、私はなんの疑問も持たず週に2回ずつ通って、発表会があって、稽古場で辛いことであっても踊るのが楽しいので通っちゃった。一番ダンスから遠ざかったのは、中学時代に私が踊りたいダンスは今やってるダンスじゃないような気がして、だんだんつまんなくなっていくときですね。そのときちょうどバブルで、いろんなダンスカンパニーが来日した時期で、どんなダンスをやるのかなって観に行ったらのがよかった。そこで、ああ自分がやりたい踊りって自分で作んなきゃいけないんだあって、気がつきました。それで日本大学芸術学部を受け、ダンスカンパニーを自分で作ってやろうと。ところが大学で1年間遊び倒してしまったんですよ(笑)。私が一緒にやろうねって誘った人が1年後に「どうする?」って声かけてくれて、ああそうだった、ダンスカンパニー作るんだって、みたいな感じで動き出します。そこから本当にダンスの楽しさっていうのがわかり始めて、でも答えが出るものではないのでどんどん謎が深まる。悩みつつ、キノコ舞踊団まで作って公演をつづけながら、自分はこの世界を開拓して絶対世に出るしかないなと思いました。あれもこれもやりましたっていうのはなく、ずっとダンスやって立ち止まって休んでからまたダンスやってみたい、心からダンスが好きだってことがすべての源になってるのかなあ。

華雪 伊藤さんとすごく似てるんです。妹の左利きを治すため「書道教室連れてってあげて」といわれて教室にいったのがはじまりです。ちょっと顔を出さなかったときに友達はみんなやめてしまって「レミちゃん、あなたひとりになったけどどうする?」「やりたいです」「じゃあ、せっかくふたりだから、専門的なことを教えてあげるけどやる?」「あっ、はい」みたいな感じで、大学で習うようなことを教えてもらうようになりました。中学生で創作を始め、大学に入って家族の問題、両親の離婚とかいろいろあって、反抗期も重なり、でもやっぱり字は絶対書いていたいと思いひとりでやるって言い放って、在学中に展示を始めるんです。大学1・2年くらいは伊藤さんと同じく、丸坊主にして飲んだくれグレート

た時間があったんだけど(笑)、なにやっても発散できなくて、字を書くのが一番発散できて自分がクリアになるなあと考えて、今があります。

以前は家族や自分の思いの丈をぶつけてるつもりでやっていたけれど、歳をとってみて、それをコンセプトとして捕えてきた気がしています。最近はそのようなものがもっと自然にでてこないかしらと思って……。だから作品もするするとあまり包み隠さず曝け出すようになってきたので、今小さい頃に戻ってるような感じがします。

豊嶋 ひとつのジャンルがあって、そこにはすでにプロフェッショナルな頂点とされてる型のようなものがある。ここに集まったみなさんは、その型に疑問を投げかけて、自分で型作りみたいなのをやっている気がしますが、なにがそうさせていくのでしょうか?

服部 登山の場合は時代がありますね。14座の8000メートル峰に登ることが、かつて人類や登山史では価値のあることだったけれども、いま僕が14座登っても、あっそう、みたいな感じになっちゃうと思うんです。自分の登山をしなくてはならない時代になった。

ちょっと話を戻すと、お二人は書道、ダンスを子供





のときから一直線でやってきて、僕は、虫取りやって、球技やって、普通の大学生をやrittつ山に登って、就職しようと思ったけど失敗してみたいな、そういう生活しながら今の状態に落ち着いている。それでいまの一番重要な悩みは、自分の子供たちに、勉強しろ勉強しろって言うてしまうことなんです。「分数の割り算理解している？説明できる？」とか。何が問題かという、自分の子供に無理やりにしろある程度にしろ勉強させて、まあまあの高校へ行かして、まあまあの大学へ行かせて、まあまあの就職ができたとして、さて果たして、人生はなんだろう。それが幸せなのかということを悩んでしまう。勉強が悪いわけではない。人間はなにを考えたのかっていうことを学ぶのが重要だって思うんです。ただ、いま僕は東京の霞ヶ関で働いてるんですけど、そこは競争社会を生き抜いた学歴の高い人しかいない。そんなビジネスマンが皆、おもしろくもないルーティンワークに忙殺されて「あーあ」とかいいながら太っていて……というのをみると、これが超一流の大学入って超一流の企業に入った行く末？これが勉強の行く末なのか？と怖くなる。だから、伊藤さんも華雪さんも素晴らしいですよ。勉強が不得意で中途半端な高校に入って、中途半

端な大学や専門学校に入って、でもそれで不幸になるわけではないですよね？ まあ、心配しても、子供の人生は、子供の人生なんですけどね。

豊 嶋 みなさん、自分の表現もしくはそれに付随するものを収入として生きてきていて、なんというか ON と OFF の差異があまりなく、表現がそのまま自分の生き方にかなりイコールであるというのはいいことですよね。

服 部 ビジネスマンも仕事がライフワークであれば幸せなのかもしれませんが、企業の歯車が人生そのものにはなりえない。趣味と仕事は一緒にしないほうがいいのかという考え方もありますが、ライフワークがそのまま現金収入に重なるなら、自然にキャリアもアップしますし、楽しいですね。

豊 嶋 いま、幸せですか？

服 部 僕はかなりいいほうじゃないですか？ これで文句いったらバチが当たる。



伊 藤 私も幸せになってきました（笑）。ダンスで食べていくのは非常に厳しい時代が続いたんです。こここのところなんか黒字になってきた。何が変わったかということ、自分で自分の洋服を買えるようになったことです（笑）。大学を卒業した後に、バイトをしながらダンスをやっていて、いつかダンスでお金をもらえるようになってやる、と思っていました。ちょくちょくプロモーションビデオや色んな映像の仕事をしていたら、『アセロラ体操』のお話を頂いて。つい去年の話なんですけど、大きく仕事の種類も変わりましたし、私が何者かを相手の方にすぐわかってもらえるようになりました。コンテンポラリーダンスやってますっていつても伝わりにくいけれども、アセロラ体操作りましたっていうと「ああ！た・

「雑巾がけ競争やボランティアのお兄さん達と遊んだのがとても楽しかったです。スイカも食べれたし。」



た・た・た・太陽♪」ってすぐわかってもらえてお仕事も来やすくなり、やっと生活もできるようになったかなという感じです。

豊 嶋 フクシマのこともあり、人生や未来をどうやって作るのとか、幸せにどうやってなればいいのか、っていう答えがなかなか出せない。今まで正しいとみんなが信じてやってたことが実は全部間違ってたかもしれない、くらいのときなんですね。なにかアイデアありますか。こうやっていこうよみたいな？僕も子供もはいないにしても、40歳になりこの社会作りに加担しているわけで、なにができるかは解らないんですが、今日、子供とゴロゴロ転がりながら、もうちょっとましなものを残したいなあという気持ちにはなりましたね。

華 雪 ときどきこうして会おう子供たちと一緒に居るときに、大人ぶらないでいられたら幸せだなあとすごく思っています。彼らが見たものを一緒にみるとか、彼女らが指差すほうに一緒に歩いてみるとかする中で、自分より長いこと生きてる動物（わたし）を子供がどういうふうにみるのかなあと思いながらも、でも自由だからどんなふうにも見てもらえる自分でいられたらいいなあと思います。

服 部 豊嶋さんの言ったことは重くて、答えを考えると暗くなっちゃう。良かれと思ってやってきたことが、全然よくないことだったっていう予感が漂ってて、ショックですよ。自分の子供たちとどうつきあおうかと考えたとき、僕の場合も意識して大人なことをしようすると失敗する。あんまり上手くできない。そもそも「おとな」という概念は説明できるんですかね。僕は狩猟で、鹿を撃ち殺すのですが、そのときやっぱり考えちゃうんですね、人生の目的とはなにかと……。どうして足元に転がっている鹿が僕じゃなく、僕が鹿じゃないのか？なぜ僕には鹿の命を奪うことが許されていて、逆ではないんだって。生きる目的っていうのはおそらく「ない」というのが、今の結論です。生きる目的以外のもの、なにかを成し遂げるのがすばらしい、っていうのはおそらく後付のことで、個人的にはとにかく、人類にとって意味は「ない」気がします。フクシマのことでそんなことが証明された感じがします。

さっきの発言のつづきになりますが、生きることそのものを「楽しむ・純粋に味わえる」というのが、これからの社会かなあとと思います。昔は、経済が発展しているとか、月にいって万歳みたいな、人類の大きな目標があったと思うんです。ただそれは幻

想だったわけです。それは我々とアメリカだけの世界の話で、アフリカとかインドのほうにはすごく貧乏なひとがいて、我々がその世界から搾取して、その金を使って月へ行っただけです。100 年経てばこの会場にいる人は誰もいないわけですが、我々が消えた後、未来の人類はどう思うんですかね。21 世紀初頭の連中しょうかねえよな、と思われちゃうのか、まあなんとか少し考えて方向良かったよね、って思ってくれるのか。最近気がついたんですが、そんなことって般若心経にも書いてありますよね。僕は無宗教ですが、2000 年前に同じことをもっと美しく言っているヤツがいて、恥じ入りました。

一般 これをすると楽しく生きられるというのを、こどもとおとなバージョンで教えてください。

服部 僕はですね、人間の身体って道具だと思ってるんですよ。さっき子供たちにもいったんですけど、自分を装置みたいなものと考えて、その能力をもっとも上手く引き出す方法を自分で考えてみると思います。自分という装置を十全に機能させる努力をしてみると人生は楽しくなると信じています。僕は自分が一番上手にできるのが、山登りと文字書きなのかなあと思って人生を歩んでいます。登山は失敗しちゃうばパア、簡単にいえば死ぬ。そんなリスクをかけることでしか得られないものがそこにある。自分の子供が産まれたときに考えたんですが、相手は命なので、子供が死ぬ覚悟、子供の死をみる覚悟を持つのが親の覚悟かと思いました。けど津波に流された子供のことを考えると、自分の子供が津波に流されて冷たくなってしまうのはやっぱり見たくないですよね。もし子供が「アルパインクライミングやりたい」っていったら、「やれば」って簡単に言いにくい。と思いつつも、緩やかな放任が一番いいんじゃないかなあ……。あれ？質問の答えになってますか？

華雪 いま服部さんがおっしゃっていたそのままだなあ。私は書きたいことばのために、身体を変えてしまおうとします。自分の体力のぎりぎりまで鍛えて身体絞り込んでどれだけメンタルなのが変わるのか、その上で字を書くとうなるのかなあ。今でこそ少し考えながら実践するんですけど、小さい頃からそうすると自分が変わるって

うのを感じていました。そうやって自分の中になにかがあるのを信じたいし、信じてるものを外に出すときに一番スムーズに取り出せる身体・かたちを探ってそれを目指して作っていく。失敗したり、全然違ってきた、というときもあるし、逆に発見や驚きもあって、またそれで揺さぶられる自分を繰り返してるなかで制作をしている気がします。そこに、一番自分が楽しく充実して生きている時間があって、それは大人も子供も変わらないと思います。子供が自分なりに考えることができる環境さえあれば、その年齢その年齢で考えていくんじゃないかと思う。



伊藤 なんだろうな。こんな感じ（ポーズ写真参照）。来るものをすべて頂いてる感じ、スポンジみたいになりたいなあ。いろんなものをなにも考えずに吸収する、もらっちゃう。それをまた自分でパ一って出すみたいな。計算しないでそういう行為をシンプルにできるようになりたいとすごく思っています。それで世界がシンプルに見えてきて、今それが私にとってすごくいいやり方で、幸せで、楽しく……。となるんです。大人だから子供だからという違いはないと思う。子供たちにしてもあれとこれとって選ぶんじゃなくて、来たものを感覚でビヤ一ってもらってビヤ一とそのまま出すことができるようになると、いろんなものが吸収できて楽しくなると思います、振り付きでした（笑）。

豊嶋 時間となりました。どうもありがとうございました。



津金学校の歴史

津金学校「つがねがっこう」

みなさんが、一日勉強した学校は津金学校といいます。いまから135年前に建てられた学校です。小学校としての歴史はすでに幕を閉じましたが、今は学校の貴重な資料を展示しています。

日本に、がっこうができた

いまから約130年以上前、日本には「学校」はありませんでした。寺子屋とよばれるところに近隣のこどもが集まり、習い事や勉強をしていました。

江戸から明治となり、明治5年[1872]「学制」の発布により、アメリカやヨーロッ

パのように、こどもたちのために「学校」を造ろうと決めました。津金学校は明治6年創立、当時は就学生が150人程もいたそうです。明治8年[1875]に、この木造校舎も建ちました。洋風で和風な面白い建物です。「擬洋風建築^{ぎようふうけんちく}」といいます。難しいことばですが、「洋風をまねる」という意味です。むかしの大工さんや左官職人さんたちが、西洋建築をほとんどまだ見たこともなく知識がないままに、外観を洋風にまねて、日本の伝統的なわざを用いてつくりました。『開化式』『藤村式』建築とも呼ばれます。



新しい教育は新しい校舎から

「ふじむら」とは、当時の山梨県令（知事）をつとめた藤村紫朗にちなんでつけられました。「新しい教育は新しい校舎から」というのが藤村さんの口癖だったようです。当時、建設には村の人がお金を出しあいました。新しい教育にかける思いがここに込められています。山梨には、こういう学校が沢山つくられました。

その後、明治 20 年 [1887]、「津金尋常小学校」に名前が改められ、その後も、太平洋戦争直前になると「津金国民学校」となりました。戦後の昭和 22 年 [1947]、「津金村立津金小学校」となり、「中学校」

もつくられました。しかし児童数はやがて少なくなり、昭和 60 年 [1985] 小学校は閉校となりました。その校舎が、いまこうやって使われています。（解体修復復元）

現在、1 階教室はカフェになり、地域とさまざまなひとの会おう場所にもなっています。



なまえ